

第29期目録委員会記録 No.22

第22回委員会

日時：2005年3月26日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，白石，原井，平田，古川，増井，横山

<事務局>磯部

[配付資料]

1. 「第2章案」（29ページ - A4，増井委員）
2. 「第3章案」（13ページ - A4，増井委員）
3. 「付録 用語解説」（3ページ - A4，増井委員）
4. 「和古書、漢籍の出版年について」（1枚 - A4，増井委員）
5. 「AACR3 [第 部] draft 目次および序説の和訳」（20,4ページ - A4，原井委員）
6. 第29期第21回目録委員会記録（5ページ-A4，事務局）

[連絡事項]

1. 2月22日のBarbara Tillett氏と目録委員会との会合について（報告）
会合には、韓国国立図書館館長のイ・ジュソン氏が陪席した。
Tillett氏からは、2006年開催のIFLAソウル大会で、International Cataloguing Codeに関連して日本から報告を行うことについての打診があった。また、イ氏からは、ソウル大会preconferenceの日本開催の可能性について打診があった。
2. 第30期目録委員会について
委員長、委員とも留任とする。来年度の活動内容は、今期残った課題の解決、新しい目録規則の枠組み設定、2006年のIFLAソウル大会に向けての東アジア地区の調整等を予定している。新たな方向性の案があれば、各自意見を出す。
3. 検討会記録の出版について
検討会記録は、本日までの委員会検討結果を踏まえ、当日寄せられた質問への回答を含めて早急にまとめる。第13章と第2・3章とは別個に出版する。

[検討事項]

増井委員から、メーリングリスト上に古川委員から出された意見を加えて修正した案に関する説明があり、議論を行った。

1. 第2章について

- ・2.1.1.1A（古） 5行目「存巻ないし欠巻の内容や残欠の状況については…」の文中、

「内容や残欠の状況」を「詳細」に改める。

- 関連して、書誌的巻数にかかわる残欠の注記については2.7.4.1(カ)に、また書誌的巻数にかかわらない残欠の注記については、2.7.4.5(古)の一項に規定する。
- ・2.2.1.1.D(古) 3行目の「...校合や参考資料等により、同定識別が...」文中の「や参考資料」「同定」および「が」を削除する。
 - ・2.4.0.4(古) 「出版地、出版者と出版年の対応」という見出し語を括弧に入れて付加する。
 - ・2.4.1.1D(古) 4行目「ただし」で始まる文中の「対応する下位の」を「含まれる」に、文末の「扱う」を「扱うことができる」に、改める。
 - ・2.4.1.2A(古) 事例中の「日本橋 [江戸]」は、2.4.1.1D(古)で同一の出版地として扱う事例と同一なので、違う例に差替える。
 - ・2.5.3.2C別法(古) 削除

2. 第3章について

- ・3.1.1.2 5行目の「(外題に...)以降の文中、「とあるが」を「とあり」に改め、文末の「で書かれている」を削除する。また、7行目の文末「となっている」を削除する。
- ・3.4.3.1 文末括弧内の「日付」を「月日」に改める。
- ・3.4.3.2D 例示中の「[清]」を削除する。

3. 用語解説について

- ・印行年 刊行年への「 」(を見よ参照)を付ける。
- ・刊行年 印行年への「 」(を見よ参照)を付ける。
- ・後印本 「以前使用した、...」の「、」(読点)を削除する。
- ・題簽 文末の「貼付する」を「貼付される」に改める。

4. 今後のスケジュール

第2・3章および用語解説には、委員会からの説明をつけて出版する。完成があまり遅れなければ第13章と合わせて出版することとする。

次回以降の委員会の開催予定

4月23日(土)

5月14日(土)

6月25日(土)

以上